

日経産業新聞（2013.01.25版）1面に  
飲食店向けオーダーエンター「Orange Handy」が  
掲載されました。

## iPadミニで料理注文

### 操作2回だけ 店の費用抑制



両手の親指で簡単に操作できる

### エスキュービズムが新システム

システム開発のエスキュービズム(東京・港、駿崎敬祐社長)は、米アップルの小型タブレット(多機能携帯端末)「iPad mini(アイパッドミニ)」を使った飲食店向け注文登録システムを開発した。高解像度の画面やタッチパネルを生かし、1つの商品に付き画面を2回操作すれば注文が完了するように設計した。専用端末(ハンディターミナル)を使

う一般的なシステムに比べ初期費用を大幅に抑えられるという。2月から提供する新システム「オレンジハンディ」は店側が別途用意するiPadミニにアプリを取り込んで使う。iPadミニは両手のひらに収まり重さ約300gと軽い。この特長を生かし両手親指で素早く操作できるシステムを開発した。

アプリ上で客のテーブルを選択すると、注文画面が開く。画面の右側に「飲み物」「魚料理」などメニューの種類、左側に具体的な商品名を表示する。ビールの注文を受

## iPadミニで料理注文

### け制

けた場合、右親指で「飲み物」をタッチすると、左側に商品一覧が表示され左親指で「ビール」をタッチすると注文が完了する。数量変更もワンタッチでできる。片手で操作する専用端末に比べ接客業務を効率化できる。すべての商品の注文を入力後、無線LAN-Wi-Fiを経由で情報を送信すると、その内容が厨房とホールの小型プリンターからレシート形式などで出力される。

同社のPOS(販売時点情報管理)システムと連携させれば、注文から会計までiPadミニだけで完結する。POSも含め初期費用が50万円、導入を

目録料金が5900円かから。従来は注文用の専用端末が5万~20万円程度、POSも含めた初期費用は200万円程度に膨らむこともある。同社ではiPadミニの購入費用を考慮しても60万円程度で両方の機能を導入できる。飲食チェーンのほか、小売店などの需要も見込め、初年度に200社の導入を目指す。

システム開発のエスキュービズムは、米アップルの小型タブレット(多機能携帯端末)「iPad mini(アイパッドミニ)」を使った飲食店向け注文登録システムを開発した。高解像度の画面やタッチパネルを生かし、1つの商品に付き画面を2回操作すれば注文が完了するように設計した。専用端末(ハンディターミナル)を使

重工業に強いミウラは  
300℃の  
高温にも負けない